

# 市政トピックス TOPICS

修理・活用に向けて現在構造などを調査している旧遷喬尋常小学校校舎の見学会が、12月12日と13日に行われました。見学会では、調査中に発見された創建時の特殊瓦や屋根裏の構造などを公開。約180人がこの機会を逃すまいと見学に訪れました。なお、明治40年（1907年）の校舎完成当初は天然石スレートが屋根に葺かれていたと考えられていましたが、今回発見された特殊な瓦の形状や配列が古写真と一致することから、その考えが改められることとなりました。

見学会「国重文・旧遷喬尋常小学校校舎」  
見えないところも見せます！



調査で発見された特殊な瓦のスレート

屋根裏のトラス構造



調査用の足場から屋根を見学



講堂の天井から内部の構造を見る参加者

**新たな文化振興のために**  
真庭市文化振興計画ワークショップ

未来につながる文化振興を実現するため平成24年度に策定された真庭市文化振興計画の計画期間が今年度で終了することから、12月1日、久世エスパスセンターで見直しのためのワークショップが開かれました。市民約30人が参加。社会情勢や市民のニーズに沿った新たな文化振興計画にしようとする行政、学校、市民それぞれができること、取り組んでほしいことなどを付箋に書き出し、活発に意見を交わしました。



ワークショップで活発に意見交換する参加者



支柱にハナミズキを固定する旅館関係者ら

**ゆばら湯つ足り広場植樹  
みんなの憩いの広場に緑を**

豊栄の桃李荘跡地に整備されている憩いの広場で11月26日、植樹祭が行われました。地区住民やライオンズクラブなど約50人が参加し、イロハモミジやヤマボウシ、キンシバイなど159本を植栽。市民や観光客の憩いの場を協働で整備しました。なお、昨年10月に募集していた広場の名称は、応募総数253件の中から、茨城県日立市の早雲まち子さんの「ゆばら湯つ足り広場」に決定しました。広場は4月にオープン予定です。



市政に関する動きの一部を紹介します

### 11/21 楽しく体を動かし健康づくり

ほくぼう健康まつりが、コスモドームと北房文化センターを会場に開催されました。ノルディックウォーキングや健康づくりコーナーを巡るスタンプラリーなどが行われ、参加者は楽しく体を動かしていました。



### 11/27 元気に杵振り、餅をつく

草加部小学校で餅つき大会が開かれました。全校児童と地域の人、草加部幼稚園児の約120人が参加。子どもたちは大人に教わりながら元気に杵を振るい、つきたての餅はきな粉餅や雑煮にしてみんなで味わいました。



### 12/15 子育てがしやすい地域を目指して

市長と市民が意見交換を行う場「市長と話そう！」が北房文化センターで開催されました。今回は、ほくぼうはたるっこの代表6人と、地域の子育てや保育園についてなど、活発な意見交換が行われました。



市長室から  
**こんにちは!**

### 実りある豊かな人生でありたい

誰しも今年はどうありたいという抱負があると思いますが、自分にとって人生の実りを考える歳になるにつれて、物欲的なことが消えて、二つのことを強く肝に銘じるようになりました。一つは、「感動」の数が多いほどよい、そんな日々を送りたいこと。もう一つは、「ありがとう」と言われる数が多いほどよいし、相手に対して素直に感謝する心でそう言える自分でありたいということです。

この二つの思いを常に抱きながら、虚心坦懐に、謙虚な気持ちで、日々健康で公職を励み、「希望と元気」の真庭づくりにまい進してまいります。それが私の実りある豊かな人生にもなります。

市民の皆さん、今年もよろしくお祈りします。



導入当時を知る三秋さんらの話に聞き入る参加者

### 特別座談会「ジャージー牛導入の頃 酪農の歩みを振り返る」

12月5日、蒜山郷土博物館で座談会「ジャージー牛導入のころ」が開かれました。蒜山地域にジャージー牛が導入された61年前に岡山県の技師として酪農家を指導した三秋尚さん（岡山市）と、導入初期から飼育に取り組む長綱元昭さん（蒜山下福田）が招かれ対談。2人からは当時の酪農家の苦労や熱意、今後への期待が語られ、訪れた約40人は蒜山地域の酪農の歩みを振り返りながら話に聞き入っていました。



スギヤマカナヨさんに教わって動くしおりを作る親子

### スギヤマカナヨワークショップ 動くしおりをつくろう!

12月6日、絵本作家のスギヤマカナヨさんを講師に、動くしおりを作るワークショップが久世エスパセンターで開催されました。多くの人に本に親しんでもらおうと久世図書館が企画し、市内の親子20人が参加しました。お気に入りの本に登場する動物などをモチーフにしてしおりの形を作り、金具を取り付けてしおりの動物の手や耳、帽子などが動くオリジナルのしおりを、親子で楽しく作っていました。